福岡和白病院リハビリテーション科で変形性股関節症に対して 外来リハビリテーションを受けられた患者様へ

当院リハビリテーション科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。

また、この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	3軸加速度計を用いた変形性股関節症患者と健常成人女性の歩行比較
当院の研究責任者（所属）	馬場 仁美（リハビリテーション科）
本研究の目的	変形性股関節症の危険因子は、加齢、性別、先天性疾患などが挙げられ、変形性股関節症が進行すると歩行や立ち上がり、階段昇降などの日常生活動作能力の低下に繋がる可能性が報告されている。近年では高価な三次元動作解析装置ではなく、測定簡便で小型の3軸加速度計も用いられる。今回、健常成人女性と変形性股関節症患者の歩行を、3軸加速度計を用いて歩行の特徴を比較することを目的とする。
調査データ該当期間	2023年1月1日～2025年3月31日
研究方法	<p>●調査の対象となる患者様● 福岡和白病院で変形性股関節症の診断を受け、2023年1月1日から2025年3月31日に当院の外来リハビリテーションを受けた患者</p> <p>●使用するカルテ情報● AYUMI EYE で計測した加速度を用いた指標 ハンドヘルドダイナモメーターを用いた股関節外転筋力 歩行速度、JOA スコア、Harris Hip Score 等</p> <p>●試料や情報の管理● 研究等の実施に係わる文書や記録等をリハビリテーション科の鍵のかかるロッカーに保管する。</p>
個人情報の取り扱い	<p>研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。</p> <p>将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。</p>

本研究の資金源・ 利益相反について	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	福岡和白病院 リハビリテーション科 電話：092-608-0001（代表） 研究責任者：馬場 仁美